

施政概要

(案)

令和2年第4回（12月）市議会定例会

四街道市

予定事項等が含まれていることや11月18日時点の内容であることから、
今後の状況により、内容が変更する場合があります。

【はじめに】

本日、ここに、令和2年第4回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した第一弾の市独自の取組について申し上げます。

「市民生活への支援等」の取組でございますが、結婚した若い夫婦への支援については、10月1日に対象者を拡充した上で、申請期限を来年2月1日に延長し、給付金の支給を行っています。

四街道市に関わるすべての人に元気、勇気を届ける応援動画の制作については、市民等から応募のあった写真と応援等メッセージに、シンガーソングライターのゆうなみさんが、このプロジェクトのために書き下ろした楽曲「新しい日々」を添えた動画が完成し、10月13日から配信を開始しました。

また、市ホームページにおいて、災害等が発生した際に緊急情報を表示させる機能を整備したほか、市トップページをこれまでよりも見やすく、分かりやすく伝えるためのリニューアルを行い、9月30日から運用を開始しました。

次に「地域経済活性化への支援」の取組でございますが、感染症拡大防止に協力いただいた個人事業主及び店舗経営に影響が出ている飲食店等への支援については、申請期限を来年1月15日に延長し、協力金又は支援金の支給を行うとともに、サービス代金を先払いする特設サイト「よつまちマルシェ さきめし四街道」において、10月20日にプレミアムチケットの販売キャンペーンを実施しました。

また、タクシー事業者による料理のデリバリーを行う「タクめし」については、飲食店等に対する助成金の支給対象期間を来年3月31日まで延長しました。

次に「医療機関への支援」の取組でございますが、市内医療機関等への新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた医療資材の配布については、医療機関等が効率的に調達できるよう、医療資材購入に対する助成金の支給に変更するための補正予算案を本定例会に提出させていただいています。

また、発熱等患者を診察する市内医療機関に対する支援については、対象要件を緩和した上で、申請期限を10月31日まで延長し、助成金の支給を行いました。

続きまして、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した第二弾の市独自の取組について申し上げます。

「地域経済活性化への支援」の取組でございますが、国の持続化給付金の対象から漏れ、新型コロナウイルス感染症の影響により減収が続く市内事業者に対しては、来年1月15日を申請期限として、支援金の支給を行っています。

また、キャッシュレス決済サービス「PayPay」が行う自治体応援キャンペーンと連携し、12月に市内店舗等で「PayPay」を使って決済をした場合に20%をポイント還元するキャンペーンの実施に向け、準備を進めるとともに、事業者及び消費者に向けた説明会を開催しました。

次に「子育て世帯・若者・高齢者への支援」の取組でございますが、2歳6か月児歯科健診については、10月1日から集団方式を個別方式に変更して実施しています。

未就学児のいる子育て家庭に対しては、12月に給付金を支給するための準備を進めるとともに、高校生等がいる家庭のうち、準要保護世帯と同水準の世帯に対しては、来年2月12日を申請期限として、給付金の支給を行っています。

市内路線バスの通学定期券を購入した学生がいる世帯に対しては、来年1月15日を申請期限として、支援金の支給を行っています。

居宅にて在宅介護サービスを利用している要支援・要介護認定者に対しては、在宅介護サービスを利用する際の感染防止に向け、衛生材料等の購入に対する支援を12月から行うための準備を進めています。

また、オンラインによるコミュニケーション及びスマホ・タブレット講座の開催については、応募人数が定員を超えたことから、講座の開催数及び受講人数を追加して実施しています。

次に「新たな生活への支援」の取組でございますが、宅配ボックスを購入した世帯に対しては、来年2月10日を申請期限として、補助金の支給を行っています。

自主防災組織又は同組織を設立していない区・自治会に対しては、災害時に必要となる物品の購入を支援するため、来年1月29日を申請期限として、給付金の支給を行っています。

次に「周知啓発」の取組でございますが、10月に新型コロナウイルス感染症に関する国等や市独自の支援策のほか、「新しい生活様式」に対応するためのスマートフォンの有効活用方法や高齢者の健康維持方法を掲載したパンフレットを市内全戸に配布するなど、支援が必要な人等へ情報が届くよう周知啓発を行いました。

また、8月及び11月には、中止していた集団検診の追加日程及び「新しい生活様式」を踏まえた集団検診を受診するためのお知らせを市内全戸に配布しました。

その他の感染症拡大防止に向けた市独自の取組については、事業実施に向けた準備等を進めています。

続きまして、本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組について申し上げます。

ごみ処理施設については、次期ごみ処理施設等用地の深度方向における汚染状況の調査において、すべての土壌分析が完了したほか、地下水モニタリング調査では、10月分までのモニタリング結果を踏まえ、指定調査機関と土壌汚染対策の検討を進めています。また、損害賠償請求事件の裁判については、11月12日の弁論準備手続において、証拠調べが行われたところです。なお、地元吉岡区とは、「次期ごみ処理施設建設等に関する連絡協議会」を開催するなど、引き続き施設建設事業及び地域振興事業等の協議を進めています。

妊婦及び生後6か月から小学校2年生までのお子さんのインフルエンザワクチン接種については、来年2月28日を申請期限として、助成金の支給を行っています。

教育のICT環境については、小中学校の情報通信ネットワーク環境を整備するとともに、児童生徒1人1台のタブレット端末の導入に向け、12月下旬から小学校6年生及び中学校3年生に配布していくなど、順次整備を行ってまいります。

都市計画道路の整備については、3・3・1号山梨臼井線において、引き続き橋梁上部工築造工事及び道路改良工事を進めています。また、5月に橋の名称を募集したところ、73件の応募があり、審査の結果、「ゆめのとて橋（ぼし）」に決定しました。

続きまして、主要施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」
の分野でございますが、子ども家庭支援については、児童及び妊産婦の福祉の充実を図るため、来年4月の子ども家庭総合支援拠点の設置に向け、準備を進めています。

障害者支援については、「第6期四街道市障害福祉計画」及び「第2期四街道市障害児福祉計画」の策定に向け、四街道市障害者自立支援協議会及び四街道市保健福祉審議会障害者・障害児部会を開催し、計画素案に対するご意見をいただきました。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」
の分野でございますが、防災・減災については、防災行政無線のシステム更新及び防災情報を一斉配信するシステムの導入に係る契約手続を進めています。

消防・救急については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせていた救命講習を、感染防止対策を徹底した上で10月から再開し、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進しています。

基本目標3「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」
の分野でございますが、子ども教育については、「四街道市いじめ防止基本方針」に基づき、家庭、学校、関係機関等と連携し、人権意識の高揚を図り、いじめを見逃さない学校づくりを目的として、12月10日の「世界人権デー」に合わせ、11月11日から12月10日まで、全小中学校において「いじめ撲滅キャンペーン」を実施しています。

生涯学習については、10月から来年2月まで全9回の開催を予定している「市民大学講座一般課程」において、定員を80名から33名に変更するなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた上で開催しています。

基本目標4「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」
の分野でございますが、環境保全については、大日地区での環境基準を超過した地下水への対応として、3地点目の地質ボーリング調査を実施し、採取検体の分析を行っています。また、汚染機構の解明に向け、周辺の民間井戸の調査等の準備を進めています。

循環型社会については、市民の皆様のご協力の下、9月に家庭系ごみ処理手数料制度を導入するとともに、新しいごみの出し方に移行しました。

住環境については、成台中土地地区画整理事業区域内の成山及び中台の一部に

係る住居表示の実施に向け、11月に四街道市住居表示審議会を設置しました。

また、都市公園事業として、都市公園園灯408基のLED化工事を発注しました。

生活基盤については、市内の排水対策として、栗山山梨線排水工事のほか、大雨による道路の冠水軽減を図るため、四街道鹿渡線排水路整備工事を発注しました。

水道事業では、安定した給水を確保するため、和良比地先ほか7か所の配水改善工事等を発注しました。

基本目標5 「にぎわいと活力にあふれるまち」

の分野でございますが、道路・交通については、山梨南波佐間線の交通安全施設整備工事を完了するとともに、大日12号北線の道路改良工事を発注しました。

公共交通サービスの充実では、国土交通省の「令和2年度グリーンスローモビリティの活用検討に向けた実証調査支援事業」の採択を受け、11月30日から千代田地区においてグリーンスローモビリティの実証実験を開始します。

市街地形成については、成台中土地区画整理事業において、令和3年度の換地処分に向けて、公共施設の管理引継ぎ協議や画地確定測量など、引き続き適正な組合運営を促しています。

基本目標6 「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」

の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、次年度の「みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）」の実施に向け、11月5日まで提案募集を行いました。今後は、公開プレゼンテーションによる審査を経て、採択する事業を決定してまいります。

また、本市の「みんなでつつみこむあたたか地域づくり」プロジェクトが、一般社団法人日本経営協会主催の「協働まちづくり表彰」において、準グランプリを受賞したほか、千葉県主催の「令和2年度ちばコラボ大賞」において、たろやまの郷の保全活動に係るたろやま会と市の協働の取組が、大賞を受賞するなど、本市における市民協働の取組が高く評価されました。

シティセールスについては、新型コロナウイルス感染症に伴う市独自の取組について、積極的なプレスリリースを実施し、各種マスメディア等に本市が掲載されるなど、市の認知度向上に努めています。

行財政運営については、本年度で指定期間が満了する新たな指定管理者の選定にあたり、10月に指定管理者選定評価委員会を開催し、各施設における指定管理者の候補となる団体が選定されました。この結果を受け、本市の公の施

設の新たな指定管理者の候補となる団体を決定し、本定例会に指定管理者の指定に係る議案を提出させていただいたところです。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年11月24日

四街道市長 佐 渡 斉